

分野	前回調査(R2.9月実施)		今回調査(R5.7月実施予定)	
基本情報	1	性別をお聞かせください。	1	
	2	年齢をお聞かせください。	2	
	3	お住まいの区をお聞かせください。	3	
	4	ご職業をお聞かせください。	4	
	5	同居されているご家族の構成をお聞かせください。	5	
在宅医療	6	あなたは日ごろ、病気、ケガの時に行くことを決めている「かかりつけ医」をお持ちですか。	6	
	7	「持っている」と回答された方にお聞きします。かかりつけ医は次のどれですか。(1つだけ)	7	
	8	あなたは在宅医療について知っていますか。	8	
	9	あなたはお住まいの区で在宅医療に取り組んでいる医師を知っていますか。	9	
	10	あなたは在宅医療や緩和ケアについて関心がありますか。	10	
	11	あなたは脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか。	11	
	12	「希望するが、実現は難しいと思う」「希望しない」と回答された理由についてお聞かせください。(1つだけ)	12	
	13	あなたがもし在宅で療養生活を送ることになった場合、もっとも気になることは何ですか。(1つだけ)	13	
	14	あなたはもし入院が必要となった場合、入院の継続や退院後の在宅医療について、誰に相談しますか。(1つだけ)	14	
	15	今後、在宅医療を推進していくために、何が必要だと思いますか。(いくつでも)	15	
	16	今後、在宅医療の推進のために、行政等に求めることは何ですか。(1つだけ)	16	
救急医療	17	新潟市急患センターや西蒲原地区休日夜間急患センターを知っていますか。また、利用されたことはありますか。(1つだけ)	17	
	18	あなたは新潟市における救急医療体制について、どのように感じていますか。(いくつでも)	18	
	19	あなた自身やご家族の方が夜間や休日等に急に高熱がでた場合、どのような対応を取られますか。(1つだけ)	19	同左 1.診療所・病院の診療開始まで様子を見る 2.市販薬を服用して様子を見る 3.救急相談アプリ(LINE)や救急受診アプリ(Q助)などを利用して緊急度や必要な処置を確認する 4.救急医療電話相談窓口(#7119・#8000)に電話で相談する 5.新潟市急患診療センターに電話で相談する 6.かかりつけ医を受診する 7.初期救急医療機関(新潟市急患診療センターや西蒲原地区休日夜間急患センター)を受診する 8.自分で救急医療機関(病院)を調べて受診する 9.総合病院を受診する 10.救急車を呼ぶ 11.その他
	20	最近、あなた自身やご家族の方が夜間や休日等に急病となられた場合、どちらを受診されましたか。(1つだけ)	20	
	21	今までに救急車を利用されたことがある方は、その理由をお聞かせください。利用されたことがない方は、救急車を要請する場合はどんなときにお聞かせください。(1つだけ)	21	
	22	現在、救急医療には次に記載するようないくつかの課題があります。知っているものはありますか。(いくつでも)	22	
	23	新潟市では、市民の皆さまに向け広報誌などを活用した、医療機関などの適正受診のための普及啓発を行っています。知っているものはありますか。(いくつでも)	23	同左 1.新潟市ホームページ 2.医療機関の適正受診(救急車の適正利用)パンフレット 3.救急医療電話相談窓口(#7119・#8000)チラシ・カード 4.新潟日報情報誌-aeeh 5.新潟日報新聞広告-下越くらしの情報ウィーター- 4「新潟市公式LINE」による通知 5.その他 6.知らない
精神科医療	24	あなたやご家族について、もし「うつ病」等の精神疾患かもしれないと感じたら、どこに相談しますか。(3つまで)	24	
	25	あなたやご家族について、もし「うつ病」等の精神疾患を疑うような様子の変化に気づいた場合、どの段階で受診しますか。	25	
	26	あなたやご家族について、どのようなころの不調を感じた時に、家族や友人以外の相談機関に相談しますか。(当てはまるものすべて)	26	
	27	あなたやご家族について、どのようなころの不調を感じた時に受診しますか。(当てはまるものすべて)	27	
	28	アルコール依存症が精神疾患であることを知っていますか。	28	
	29	新潟県および新潟市が実施している「精神医療相談窓口」を知っていますか。	29	
	30	今後、新潟市が進めていく精神疾患に対する施策として、何を重視していくべきだと思いますか。(5つまで)	30	
	31	あなたやご家族について、もし認知症かもしれないと感じたら、どこに相談しますか。(3つまで)	31	
	32	あなたやご家族について、もし認知症を疑うような様子の変化に気づいた場合、どの段階で受診しますか。	32	
33	今後、新潟市が進めていく認知症施策として、何を重視していくべきだと思いますか。(3つまで)	33		

令和5年度 新潟市医療に関する意識調査 設問案(市民対象)

分野	前回調査(R2.9月実施)		今回調査(R5. 7月実施予定)	
災害時における医療	34	あなたは日ごろから、災害に備えて薬や救急セットなどの救急用品を常備していますか。	34	
	35	あなたは日ごろから、災害に備えて健康管理のためのお薬手帳などを常備していますか。	35	
	36	あなたは災害が発生した場合、まず、どのような伝達手段で医療情報を収集しますか。(2つまで)	36	
	37	あなた自身やご家族の方が災害で負傷した場合、まず、どのような対応を取られますか。(2つまで)	37	
	38	今後、災害時の医療救護体制を整備していくために、何が重要だと思いますか。(いくつでも)	38	
医療情報	39	あなたは病気や医療に関する情報を、主にどこから得ていますか。(1つだけ)	39	
	40	あなたは日ごろ、保健・医療に関する情報の中で知りたいと考えているものは何ですか。(3つまで)	40	
	41	あなたが保健・医療に関するサービスを選択する際に、どのような情報があると良いと思いますか。(2つまで)	41	
医療の選択	42	あなたは医療機関をどのような方法・手段で探しますか。(いくつでも)	42	
	43	あなたは受診する医療機関を選択するとき、診療科目の他にどのような点を重視しますか。(2つまで)	43	
	44	あなたはご自分の病気や治療について知り、受ける医療をご自身で選択・決定するためには、何が重要だと思いますか。(2つまで)	44	
	45	あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ)	45	
	46	あなたは、ご自身の最期が近い場合、どのような医療ケアを受けたいですか。(2つまで)	46	
	47	あなたは、ご自身の最期が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族等や医療介護関係者とのくらし話し合ったことがありますか。※「ご家族等」には、家族以外に、あなたが信頼してあなたの医療・ケアに関する方針を決めてほしいと思う人(知人・友人)を含みます。	47	
	48	問47で「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」と回答された方にお聞きします。誰と話し合っていますか。(当てはまるものすべて)	48	
	49	問47で「話し合ったことはない」と回答された方にお聞きします。これまで話し合ったことがない理由は何ですか。(当てはまるものすべて)	49	
50	あなたは、ご自身が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・ケアを受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。	50		
医療提供の満足度	51	新潟市の医療は充実していると思いますか。	51	
	52	問51で「どちらかと言えば充実していない」「充実していない」と回答された方にお聞きします。特に充実してほしいものは何ですか。(2つまで)	52	
	53	新潟市における医療施策について、満足していますか。 ①医療施策全般 ②在宅医療体制の推進 ③救急医療体制の整備 ④精神科医療体制の整備 ⑤災害時における医療体制の整備 ⑥医療提供体制において必要な人材確保と利用者ニーズに対応できる質の高い人材育成	53	